



令和5年度

**まちづくり
応援補助金**

実績報告書



1 団体名	地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会
2 事業名	－東城アートプロジェクト－ 空き家リノベーションとアートと音楽によるまちづくり事業
3 事業費	1,479,951 円（うち補助金：858,000 円,自主財源 621,951 円）
4 事業内容	

本活動は、地域コミュニティの活性化を図るために、地域住民や広島市立大学芸術学部の学生、教員や社会連携センター等と連携して事業を実施した。この目的は、都市部の大学や学生に地域のまちづくりを支える関係人口となってもらうことである。

10 数年前より空き家（1920 年代建築の文化財クラスの歴史的建造物）を利活用するため、DIY によるリノベーションにより整備した。また、その周辺地域や建物内で都市部の若者と交流しながらアートと音楽によるワークショップイベントを実施して、まちの魅力向上を図るエリアリノベーションなどにも取り組んだ。

① 空き家の歴史的建造物の活用（DIY ワークショップにて建物リノベーション）

地域住民や大学生と建物リノベーションを実施し、アート作品展やアート系ワークショップ、音楽ライブなど建物公開イベントを 3 回実施してワークショップ・イベントスペース、カフェ等として活用を試みた。

② 壁画アートによる街並みの景観向上と魅力アップを目指し創造性を高める活動として壁画体験用スペースにて壁画制作体験ワークショップを 3 回開催した。

5 波及効果

今回、都市部の大学、地域住民等との協同事業により、大学生、教員がこの地域に関わることも増え始めた。このことで、地域のまちづくり関係人口の増加に繋がる効果が表れた。また将来的に都市部の若者が地域に魅力を持ち、移住や長短期滞在などで今回リノベーションした建物を多様性、多面性な活用していくようになれば、さらなる地域コミュニティの活性化の道筋が描ける。

また、地域壁画等アートを通じて新たな地域エリアリノベーションや地域景観の向上の手法の一つになり地域のランドマークとして、観光資源のひとつとして位置付けでき観光での波及効果も期待出来る。補助事業が終了しても、町内でのイベント時など、参加者が体験壁画スペースにて壁画を描くなど継続的な取り組みとなっている。空き家活用にしても新たな空き家建物の活用に向けてリノベーション相談があるなど地域内で波及効果は表れている。

6 活動写真



空き家リノベーション



壁画アートによるエリアリノベーション

東城アートプロジェクト

— 空き家リノベーションとアート
と音楽によるまちづくり事業 —

地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会



東城アートプロジェクト

— 空き家リノベーション
と
アートと音楽によるまちづくり事業 —

地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会



—活動の場所—



— 活動概要 —

本活動は、山間部に暮らす住民や企業、そこで働く外国人技能実習生などに加え都市部から地域をささえる関係人口になってもらう広島市立大学芸術学部の学生・教員・社会連携センターやアート音楽関係者などと連携して、空き家の歴史的建造物の保全・再生・利活用をしました。またアートを取り入れて街並みの景観向上を図り、地域コミュニティの活性化と創造性を高める活動を進めました。



何をしたか

- 都市部若者と連携して1920年代の空き家のDIYリノベーションに取り組み、周辺地域でアートと音楽のワークショップイベントを実施しました。この活動を通じて都市部若者と交流を計りながらまちの魅力向上を図るエリアリノベーションに取り組み地域コミュニティの活性化を目指しています。

- ① 空き家の歴史的建造物再生活用
- ② 壁画アートによる街並みの魅力アップ創造性を高める活動
- ③ リノベ建物や周辺でアート・音楽ワークショップイベント開催



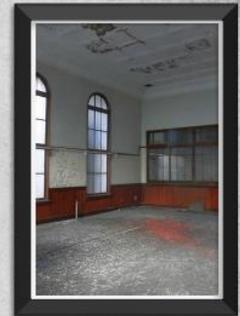
— 空き家の歴史的建造物保全再生活用 —



イベントスペースとして利活用



10数年前より空き家となった、1920年代建築の地元企業ヤマトックマン社の旧本社事務所兼住宅と旧研究所。文化財クラスの歴史的建造物を芸術系大学生など若者の発想を取り入れ、企業や地域や学生と協同でDIYによるリノベーションを進め、将来的にアーティスト・レジデンス的な施設に再生する。



企業・地域住民利活用健康増進施設
(補助対象外)



片付け
と
DIY





片付け
と
DIY



アーティストの創作活動の場「アトリエ」として活用



ワークショップ会場として活用



交流音楽イベント開催



- 壁画アートプロジェクト -



壁画体験用スペース



壁画体験用スペース



メイン壁画
(補助対象外)

国登録有形文化財ヤマモトロックマシン工場を囲う延100mに及ぶコンクリート塀に壁画を描くプロジェクトも進め、アートと音楽を取り入れたワークショップイベントなどを通じて街並みを彩るエリアリノベーションに取り組み、地域コミュニティに新たな創造と価値を生み出す。



大学生壁画制作面 (補助対象外)



街道東城路面

広島市立大学と壁画制作&体験壁画



壁画体験スペース



かかわった人たち
(地域外)

- ・ 広島市立大学芸術学部
- ・ 広島市立大学社会連携センター
- ・ AKTMUSIC
- ・ 庄原一心 アコナイ東城
- ・ 広島県ヘリテージ協議会



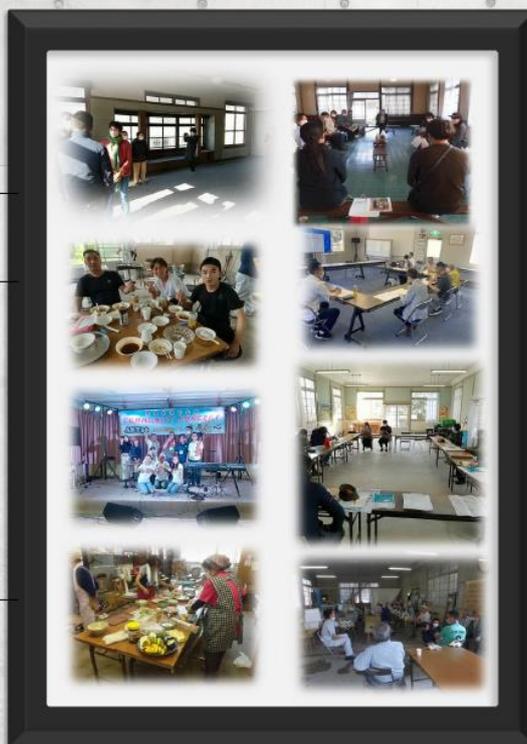
かかわった人たち
(地域)

- ・ 東城アートプロジェクト
実行委員会
- ・ 東城路まちなみ協議会
- ・ 東新会
- ・ 地域自治会他・個人・団体
- ・ 外国人技能実習生



かかわった人たち
(地域外)

- ・ 広島市立大学芸術学部
 - ・ 広島市立大学社会連携センター
 - ・ **AKTMUSIC**
 - ・ 庄原一心 アコナイ東城
 - ・ 広島県ヘリテージ協議会
-



かかわった人たち
(地域)

- ・ 東城アートプロジェクト
実行委員会
 - ・ 東城路まちなみ協議会
 - ・ 東新会
 - ・ 地域自治会他・個人・団体
 - ・ 外国人技能実習生
-

1 団体名	庄原一心
2 事業名	庄原一心 Nostalgic Night 【庄原 Jam2023】
3 事業費	1,058,800 円（うち補助金：686,000 円、自主財源：372,800 円）
4 事業内容	音楽イベントの企画運営及び情報発信 開催日：2023/7/16 会場：庄原ふれあいセンター コパリホール（入場料無料） テーマ：庄原一心 Nostalgic Night 【庄原 Jam2023】 出演組数：15 組によるミュージックコンサート（学生 4 組）
5 波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント当日来場者数 150 名程度 ・ SNS を活用し、広報活動を行うことで来場者には庄原市内・市外（広島市・東広島市）より来ていただき、音楽を通じ文化交流の場として庄原を PR することができた。 ・ 今回のイベントを通じて、市外からの音楽イベント交流の話をいただいた。 ・ 学生（高校生・大学生）と企画運営をすることで、世代を超えた「人と人とのつながり（世代間交流）」ができた。 ・ 多くの人が関わることで音楽を通じてコミュニティの醸成が図れた。 ・ 今後も活動やイベントを続けていき、さらなる地域の活性化へつなげていきたい。
6 活動写真	  

令和5年度 庄原市まちづくり応援補助金

庄原一心 活動報告

事業名

庄原一心NostalgicNight 【庄原Jam】

事業内容

Musicコンサート

- 開催日 2023年7月16日
- 会場 庄原ふれあいセンター コパリホール
- 出演組数 15組 一般11組 学生4組

ポスター&当日タイムテーブル



庄原一心 Nostalgic Night2023 『庄原 JAM』

2023.7.16 コパリホール 12:00~20:20

12:00-12:30	えぶろん	1) えぶろん 2) えぶろん 3) えぶろん 4) えぶろん 5) えぶろん 6) えぶろん 7) えぶろん
12:40-13:10	角田&庄原フレンズ	1) 角田 庄原 2) 角田 庄原 3) 角田 庄原 4) 角田 庄原
13:20-13:50	りなはは	1) りなはは 2) りなはは 3) りなはは
14:00-14:30	よろすや	1) よろすや 2) よろすや 3) よろすや
14:40-15:10	西山radiators	1) 西山radiators 2) 西山radiators 3) 西山radiators 4) 西山radiators
15:20-15:50	ゆつくりボメラニアン	1) ゆつくりボメラニアン 2) ゆつくりボメラニアン 3) ゆつくりボメラニアン 4) ゆつくりボメラニアン 5) ゆつくりボメラニアン
16:00-16:30	ホレボレ	1) ホレボレ 2) ホレボレ 3) ホレボレ 4) ホレボレ 5) ホレボレ 6) ホレボレ 7) ホレボレ

16:00	avideep	1) avideep 2) avideep 3) avideep 4) avideep 5) avideep
17:30	暁上麗花	1) 暁上麗花 2) 暁上麗花 3) 暁上麗花 4) 暁上麗花 5) 暁上麗花
18:40-19:10	vivid brights/ Never mind	1) vivid brights 2) Never mind 3) vivid brights 4) Never mind 5) vivid brights 6) Never mind
19:20-19:50	NOSTALGIA	1) NOSTALGIA 2) NOSTALGIA 3) NOSTALGIA 4) NOSTALGIA 5) NOSTALGIA
19:55-20:20	HIINKS	1) HIINKS 2) HIINKS 3) HIINKS 4) HIINKS

補助金

事業費総額 1,058,800円

うち補助金 686,000円

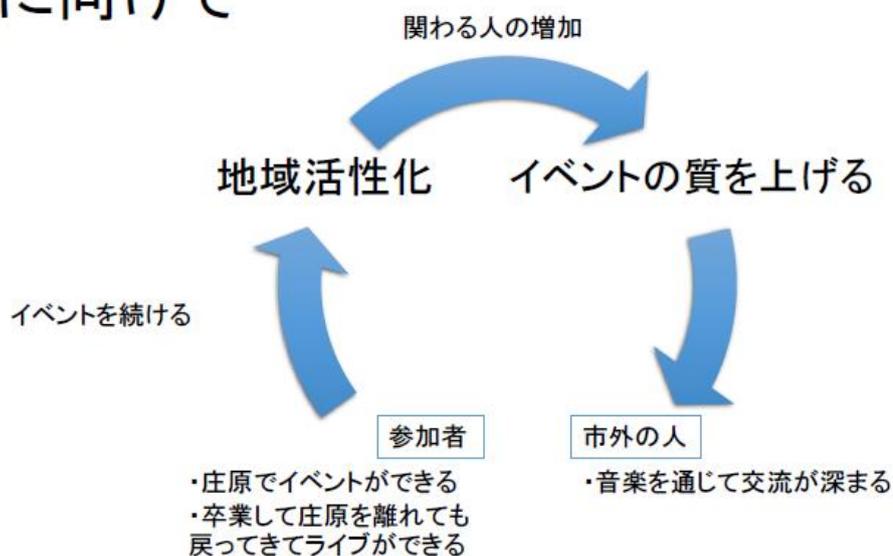
自主財源 372,800円

事業費内訳	金額(円)	内訳
消耗品費	28,800	ガムテープ等
印刷製本費	86,000	ポスター、のぼり等
役務費	144,000	設営、音響オペレーター
使用料・賃借料	800,000	音響機材、照明機材、ステージ等
合計	1,058,800	

波及効果

- 観客動員 150名
SNSを活用しイベント告知おこなう事で市外からの来場もあった
- 出演者 60名（学生17名）
- 音楽活動を通じ文化交流の場として庄場をPR出来た
- 学生達との企画・運営をすることで世代を超えた交流が出来た
- 多くの人に関わる事で音楽を通じコミュニティーの醸成が図れた

今後に向けて



1 団体名	地域家族まなび場
2 事業名	子ども健全育成 まちづくり
3 事業費	874,521 円 (うち補助金: 516,000 円, 自主財源 358,521 円)
4 事業内容	<p>週1回ずつのフリースクールまなび場、月1回のふれあい子ども食堂や高校生運営の子ども食堂、夏休み等長期休暇の朝ごはん屋さん、菜食料理教室やお総菜販売など、できる人ができる形で共に場づくりを行った。</p> <p>市の施設である庄原市まちなか交流施設(紅梅通り三軒茶屋)にて、子ども食堂を中心とする地域の方々と食を通しての食育や多世代交流や不登校などの子供たちの居場所、隣接する会場である九日市の参加出店など新たなチャレンジの場を設け学びと交流を目的として事業を実施した。</p>
5 波及効果	<p>事業開始日 2023 年 7 月 9 日より 110 回の講演・料理教室・子ども食堂など事業を通じ、延べ 1814 名の大学生等スタッフを含め 0 歳から 93 歳が参加した。また地域事業所や団体からも支援があり活動の後押しとなった。</p> <p>庄原市行政財産施設であるものの所在地含め、活動の周知が行き届きにくく、各催事の集客に苦戦した。その中でも催事担当者の工夫として、複数の催事者との共同開催で食と知識向上のセミナーや映画上映他地道な口コミなどから「子ども食堂」には約 100 名の来場があり施設内で対応が困難となる程となる場面もあった。</p> <p>2024 年 7 月には 1 周年イベントとして 【さんちゃ祭り】夏祭りも実施。施設や広場を活用し、午前は子ども対象として、オリジナル子ども通貨で支援物を含めた品で《お買い物マーケット》でお金のことを学び、《子どもフリーマーケット》では小学生～中学生の子供たちが自分たちの不用品を持ちより自分で価格をつけて販売を行った。午後からは催事を行うメンバーによる屋台や飲食販売をしながら《夕涼み会》も好評で約 130 名以上の参加があり継続実施の予定である</p> <p>今後も施設の充実、周知協力など行政のご協力もいただき、事業活動者の賛同者を増やしさらなる事業展開を行っていききたい。また、周辺施設と連携しながら市民が存分に親しく利用できるよう催事のさらなる展開を図っていききたい。</p>
6 活動写真	

まちなか広場三軒茶屋
多世代交流と
それぞれの居場所づくり



心得4条

- ・ 食べること
- ・ つくること
- ・ 育てること
- ・ 学びを活かすこと



【地域家族まなび場・三軒茶屋】

・活動の経緯

地域家族まなび場・三軒茶屋の活動指針 (別紙)

・活動の一つ紹介 子ども食堂の理解

・今後の活動 2023年7月9日 OPENからの現状報告

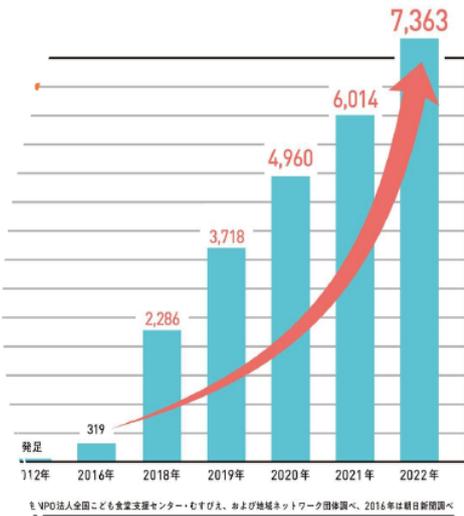
・今後の課題

こども食堂とは

子どもが一人でも行くことのできる無料または安価な食堂です。

子ども食堂 = 貧困対策ではなく
地域の子どもや大人の多世代交流の場

名称は「こども食堂」ではあるが、近年は親や地域の人々など、誰でも利用できる食堂が増えている。地域交流や子どもの見守りの場など、地域に開かれたコミュニティの場としての役割も担っている



子ども食堂のメリットと取り組み

子ども食堂とは、子どもが一人でも行くことのできる無料または低額の食堂

☺ 子ども食堂のメリット

- 01 誰かと一緒に食事ができる
- 02 無料または安価で食事ができる
- 03 地域の人とのつながりができる

✍ 子ども食堂の取り組み

- 国 全国レベルで情報収集・情報発信をおこなうとともに、必要な支援を推進
- 地方自治体 ホームページ上で地域内の子ども食堂の情報を提供
- 民間団体 子ども食堂の運営やその支援

子ども食堂に関連するボランティア部門 子ども100円 低価格設定

ふれあい食堂 たんとんとん



ふれあい食堂 たんとんとん

たのしいランチ De たんとんとん

8月27日(日)

大人 300円
小人(小学生まで) 100円

中本町 三軒茶屋
11:00~14:00まで

★お弁当をご希望の方 容器代として¥50-頂きます

ご予約 090 7109 9829

ふれあい食堂 たんとんとんまで

ふれあい食堂 たんとんとんの9月メニュー

- ★ たのしいランチ De たんとんとん
 - ミニクロワッサンサンド
 - フランスパンサンド
 - 具沢山おむすび
 - 焼きコロッケ
 - 冷製スープ
- ★ バイキングコーナー
 - サラダ2種
 - 長ムじきの五目煮
 - おからの炒り煮
 - ホロネーゼパスタ
- ★ デザート ……フルーツ
- ★ おみや …… おたのしみ

会費 大人…300円 小人…100円 (小学生まで)

お弁当をご希望の方 (容器代として¥50-頂きます)

090 7109 9829

ふれあい食堂 たんとんとんまで

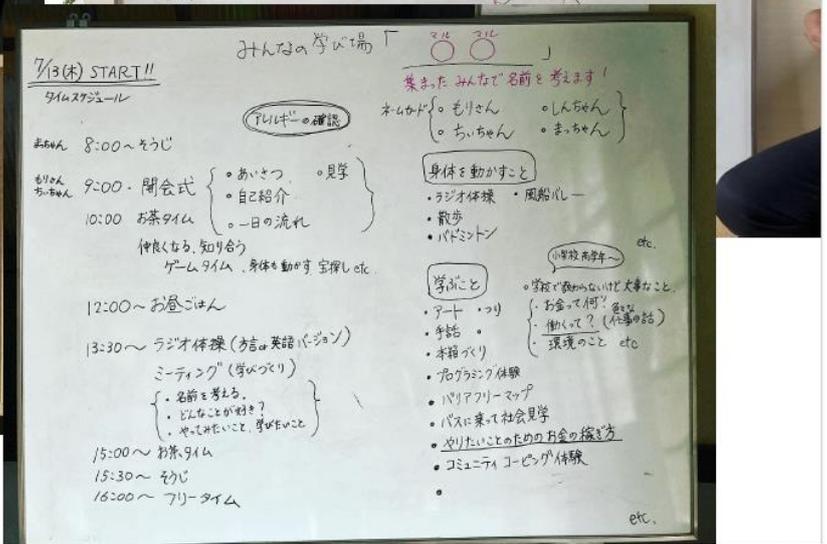
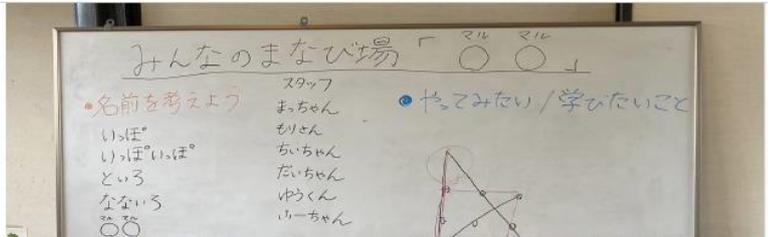
月曜は朝食堂



広島県立大学さくらプランニング
おやつをつくって
食べて学ぼう



フリースクール みんなの学び場



カフェ・物販のチャレンジ部門

古梨～まるぱん食堂





ランチカフェだんだん



甘味処 百花

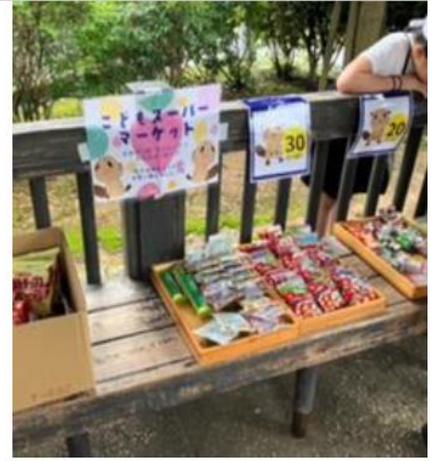


菜食料理教室





1周年企画 子どもまなびーば さんちゃ祭り



- 午前 子どもまなび〜バ祭り
- さんちゃマーケット ⇒
地域家族まなび場の利用通貨

さんちゃ祭り みんなで夕涼み



地域家族まなび場の活動と今後の課題

- 地域家族まなび場の活動は、地域社会において家族や子どもたちがともに学びあう場を提供することを目的としています。このような活動は地域におけるこどもたちの成長だけでなく、親同士や地域住民のつながりを深める事にも寄与します

- ①学びの場の提供： テーマは食育*アート*科学*金融教育など多岐にわたります
- ②交流の促進： 家族同士や地域住民が交流できるイベントを開催しコミュニティーの絆を深めます
- ③地域資源の活用： 地域の専門家や教育機関と連携し地域のリソースを活用することで質の高い学びを提供します
- ④ボランティア活動： 地域住民がボランティアとして活動に参加し支え合う環境をつくります

今後の課題

①参加者の拡充と多様性

【地域家族まなび場】には参加者の多様性が重要です

異なる背景やニーズを持つ家族の参加を促進するためのアプローチを考慮する必要があります

②持続可能な運営

活動の持続性を確保するためには、資金やボランティアの確保が課題です

地域資源の活用、外部からの支援をどう得るかがカギとなります

③ニーズの把握とフィードバック

参加者のニーズや意見を把握するための仕組みづくりが必要です
定期的なアンケートやフィードバックの実施によってプログラムの改善をします

本日はありがとうございました

この活動の支援のお願い

金銭的・物資的の寄付（ドネーション）の支援をお願いします

ともに 是非各事業所の皆さまには、社員・職員の皆様に、地域家族まなび場・三軒茶屋に足をお運びいただき一緒にお食事や、地域の先生として子どもたちに、生きる術や一緒に何かつくることを伝えてくださり地域社会全体の発展に寄与する活動となるよう地域家族まなび場・三軒茶屋に、こころを寄せていただきご支援賜りたくお願い申し上げます

私たちはさらに皆さまがこころをよせていただけるよう、学びを頂点に活動できる仲間を増やし充実してまいります

地域家族まなび場・三軒茶屋一同

1 自治振興区名	庄原花のまち応援隊
2 事業名	「花と緑があふれるまちづくり事業」
3 事業費	1,256,750円（うち補助金1,000,000円, 自主財源256,750円）
4 事業内容	<p>まちなか（中心市街地）の賑わいづくりに向けて、内外の多くの方々に体感いただく魅力あるまちづくりに向けて「花でにぎわうまち」をコンセプトに「花と緑があふれるまちづくり」を求めて、これまで長年、継続して取り組まれている「しょうばら花会議」の「オープンガーデン」（6月・10月）に合わせて、街路に位置している個人宅・商店事業所の前に季節の花で彩った300プランターを設置し、多くの皆さんに「花でにぎわうまち」を体感いただく。</p> <p>【実施方法・活動地域・対象者】</p> <p>庄原花のまち応援隊において、区域内にある小学校（2校）・中学校（1校）・高校（2校）・特別支援学校（1校）の児童生徒と共に植栽を行い、中心的な街路に300プランターを設置し・約半年間、維持管理を行う。</p> <p>【事業のアピールポイント】</p> <p>① まちづくりを多くの皆さん・関係機関団体の関わりのもとに取り組む （植栽：児童生徒学生、維持管理：設置場所の個人・商店事業所）、県立大学の学生の協力）</p> <p>② 地域の事業所の協賛・個人の協賛により活動資金の支援</p>
5 効果・変化	<p>① 庄原自治振興区が主体となり、地域内の9団体が参画した「庄原花のまち応援隊」の活動が地域の皆さんに理解をされ定着してきた。</p> <p>② 地域内の児童生徒学生の植栽活動が年間の学習活動として理解され定着した。</p> <p>③ 植栽後の維持管理を、設置している個人・商店・会社の方々が積極的に行っていただき、「花でにぎわうまち」の理解が得られてきた。</p> <p>④ 多くの方々が関わり、設置しているプランターが華やかさをましていく中、内外から来られる皆さんから、少しずつ声援をいただくようになってきた。</p> <p>⑤ 設置した区域内においては、多くの皆さんから協力をいただき事業が浸透し、次年度以降の取り組みが継続できる基盤はできた。しかし市の広報紙・新聞・振興区広報紙により周知を図ったが、全市的な波及へは今後の課題である。</p>
6 活動写真	

植栽後のプランター設置



中学校での植栽活動



植栽したスーパーペチュニア

